

柏市民活動ニュースレター

2025 年 3 月発行 第 36 号

パレット柏 市民活動サポートコーナーは お陰様で、今年 10 年目を迎えます！

柏市文化・交流複合施設「パレット柏」が 2016 年 5 月にオープンしたと同時に、同施設内に開設された市民活動サポートコーナー（旧市民活動センター）は、今年 10 年目（満 9 年）を迎えます。

当コーナーは、柏市における市民活動の活性化を図ることをミッションとして、市民公益活動団体の育成・活動支援や、各種イベント、市民活動講座の企画・運営などを行っています。

3つのシゴト



広報かしわ 2016 年 5 月 1 日号



サポートコーナー初代スタッフ

今後も引き続き、市民公益活動団体や市民の皆様にとって有益な情報提供や活動支援を行って参りますので、私たちと一緒に市民活動を盛り上げて頂ければ幸いです。

< 目次 >

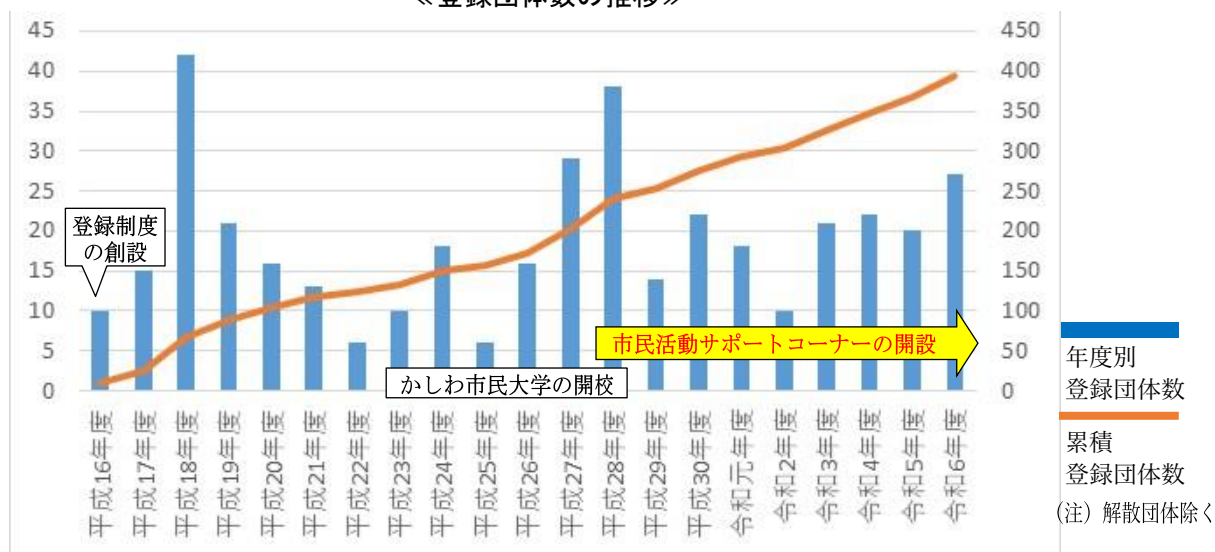
巻頭	・・・ 1
市民公益活動団体の登録状況	・・・ 2
令和 7 年度たまご補助金交付団体	・・・ 3
協働まちづくりサロン「町会・自治会と NPO の連携を考える」	・・・ 4
常磐線沿線地区市民活動センター等交流会 in 龍ヶ崎	・・・ 5
ふるさと交流都市締結 30 周年 只見ふるさとの雪まつり	・・・ 6
柏・愛らぶ基金団体の活動紹介	・・・ 7
サポートコーナーからのお知らせ	・・・ 8

市民公益活動団体の登録状況

市民公益活動団体の登録件数は、登録制度創設直後や市民大学開校時期に大幅に増加した以外は安定的に推移しており、令和7年2月末現在、394団体となっています。

市民活動の拠点として活用されているパレット柏が開設された平成28年度以降は、コロナ禍で市民の行動が制限されていた時期も含めて、堅調に右肩上がりで推移しています。

《登録団体数の推移》



登録している394の市民公益活動団体の活動分野は、多い方から、「保健・医療・福祉」、「学校・文化・芸術・スポーツ」、「まちづくり」、「子どもの健全育成」、「環境の保全」、「社会教育」の順で並び、全19分野中上位6分野で、全体の90%を占めています。

《活動分野》



1. 保健・医療・福祉	99
6. 学校・文化・芸術・スポーツ	90
3. まちづくり	56
13. 子どもの健全育成	43
7. 環境の保全	36
2. 社会教育	30
11. 国際	8
4. 観光の振興	5
10. 人権療護・平和活動	4
9. 地域安全	3
12. 男女共同	3
14. 情報	3
18. 消費者保護	3
19. 団体運営の助言・援助	3
15. 科学技術	2
16. 経済活動	2
17. 雇用拡大	2
5. 農村地域の振興	1
8. 防災救援	1
合計	394

（令和7年2月末現在）

★団体名クイズ★

Q:手賀沼は柏市民の宝です。団体名に「手賀沼」が付いた団体は幾つあるでしょうか？

A:正解は7ページをご覧ください。

たまご 補助金

令和7年度 柏市民公益活動育成補助金 (たまご補助金) 交付団体が決まりました！

柏市では、設立間もない団体に重点を置き、団体が自主的、自発的に活動を行うための財政的支援制度「柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）」を設置し、交付終了後も活動資金を集め、活動を継続できる団体を育成することを目的とし、補助金を交付しています。

このたび、令和7年度柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）の審査会において、交付団体候補として以下の7団体が選定され、今後必要な手続きを経て正式に決定します。

交付団体は1年間を通じて、市民活動サポートコーナーの伴走支援のもと活動を行っていきます。皆さん、ぜひご声援＆ご注目をお願いします！

令和7年度 たまご補助金 交付団体

経済
活動

地域コミュニティ
推進会

(事業名)

地域防災まつり

まち
づくり

風早南部かるた
プロジェクトチーム

(事業名)

風早南部かるた
ファシリテーター養成講座

学術
文化

青森ねぶた祭
文化振興会

(事業名)

市民企画によるねぶた祭の開催



学術
文化

A&L 倶楽部

(事業名)

地域住民の交流促進
にぎわいづくり事業

手賀沼 AlohaLoco フェスタ、柏 enjoy フェスタの開催

子ども
健全育成

放課後 Labo

(事業名)

放課後 Labo

※柏の葉キャンパスエリアの子どもたちが
安心して集える居場所づくり

まち
づくり

NPO 法人ジセダイ
歴史文化継承研究所

(事業名)

旧沼南町における
歴史文化自然の担い手の育成

まち
づくり

かしわ動物福祉・
共生協会

(事業名)

柏市のペット防災と
適正飼育啓発事業



※交付団体は、審査会にて応募事業の①ニーズ・公益性、②具体性・実効性、③発展性、④経費精算の適正性を判断し、決定します。



活動紹介ポスター

交付団体は、1年間でどんなことをするの？

交付団体はたまご補助金を活用し、採択された事業を1年間行います。また、交付の要件としてポスター展・中間報告会・成果報告会など定められた各会への参加や、書類の作成と提出などを行いながら、柏市市民活動支援課・市民活動サポートコーナーと連携を図りながら活動を行います。（写真は過去のポスター展等各会の様子）



中間報告会



成果報告会（翌年度の4月）



補助金制度や交付団体の詳細は、
市民活動サポートコーナーまで！



地域コミュニティの諸課題を解決するために、町会・自治会とNPO等が連携する上で必要なことを事例から考える「協働まちづくりサロン」を開催しました。

- ・日時：2025年3月8日（土）15：30～17：30
- ・場所：パレット柏 多目的スペースA
- ・参加者：町会・自治会・NPO等の活動に関心のある方（11人）
- ・内容：柏市における町会・自治会とNPO等との連携事例紹介～意見交換
- ・事例紹介：プチカル柏の葉、チーム・ばんばん



■「プチカル柏の葉」の事例

- ・2013年12月から柏の葉1丁目の空き家を借りて「プチカル柏の葉」を運営し、2018年2月に現在の柏の葉2丁目の空き家へ移転。
- ・創設以来、健康麻雀を活動の柱としており、初心者向けの教室や一人でも参加できるフリー麻雀など、さまざまな方に参加いただけるよう工夫している。
- ・空き時間の空き部屋は、サークルや個人の方に貸出を行っており、最近、空き部屋利用の問合せが増えてきている。



【町会との連携について】

- ・町会の賛助会員となって、柏の葉ささえあい会議にも毎回出席し、また、地元の方の活動の場所として「プチカル柏の葉」を提供している。
- ・代表、副代表が地元住民であることから日常的な信頼関係（顔が見える関係）を構築しており、あいさつや活動の周知を心がけることで、周囲からの理解を得ることに留意している。

■「チーム・ばんばん」の事例

- ・新青田町会を中心に、歌声サロン・おしゃべり喫茶を定期的 to開催するなど、赤ちゃん連れのママからシニアまで地域の皆さんに声かけし、交流している。

【サロンからの学び】

- ① 柏市内には、住民の高齢化、活動のマンネリ化等の問題を抱えている町会・自治会が多く見られる中、NPO等との連携により地域活性化に効果的に繋げている成功事例も少なからず見られる。
- ② 一般的傾向として、課題を抱える町会・自治会にあっても、NPO等の外部の人や組織との連携には消極的・否定的であることから、今後、広く市内の町会・自治会に対して、NPO等との連携の成功事例やメリットを知ってもらう取組みが必要になる。
- ③ 他方、NPO等の側においても、専門性を生かして町会・自治会と連携するためには、まずは地域にゆるゆる・どっぷり入って活動し、地域住民や町会・自治会と顔の見える信頼関係を構築することから始める必要がある。

常磐線沿線市民活動センター交流会 in 龍ヶ崎

常磐線沿線地区の市民活動センター等が一堂に会して情報交換を行う「常磐線沿線地区市民活動センター等交流会」が、今年は茨城県竜ヶ崎市の市民活動センターで行われました。

1. 日時・場所

日時：2025 年 2 月 27 日（木）14:00～16:30

場所：龍ヶ崎市市民活動センター 2 階大会議室

2. 参加団体（6 団体、10 人）

- ① まつど市民活動サポートセンター
- ② 流山市民活動推進センター
- ③ 柏市市民活動サポートコーナー
- ④ 守谷市市民活動支援センター
- ⑤ 阿見町市民活動センター
- ⑥ 龍ヶ崎市市民活動センター

3. プログラム

- （1）各センターからの近況報告
- （2）課題解決に向けた意見交換
- （3）今後の展開について

4. 各センターの近況等

- ① 松戸地域活躍塾は始まって 8 年、塾生はすでに 280 名卒業しており、この活躍塾に参加して卒業したこと自体がブランド化され、コミュニティにも影響を与えている。（松戸市）
- ② サポートしたい企業と市民団体、市民団体と自治会、市民団体同士の交流会を行っており、どんな仕掛けでマッチングを訴求していけばよいか考えている。（流山市）
- ③ 第一号事例しか実績がなかった協働まちづくり提案制度は、今年度第二号事業が実施され、来年度以降も継続して進めていきたい。（柏市）
- ④ もりや公益活動助成金は件数が増えている。ヤングケアラー問題の講座、自習室開設での学習支援、こども食堂など多彩な活動により、多世代交流が行われている。（守谷市）
- ⑤ センター主催講座は 2 件行ったが、今後はより魅力ある講座、参加団体の PR になるような講座を企画して団体の後押しをしていきたい。（阿見町）
- ⑥ 「活動センターを若者の居場所にするには？」をテーマに、30 歳の方にアドバイザーを委託し、若者中心のみらい会議を運営することになった。（龍ヶ崎市）

5. 令和 7 年度幹事への引継ぎ

輪番制により、令和 7 年度の幹事市は柏市に決定

6. 来年度に向けて

各センターとも課題を抱え、試行錯誤をしながら市民活動団体の支援等に取り組んでおり、本交流会での情報交換は、課題解決のヒントを得る有意義な機会になっていると思います。

来年度は、より深い意見交換ができるよう、各センターの報告を「自慢の企画・イベント」一つだけに絞って、背景、効果、課題等を詳しく報告してもらい、これについて意見交換する場にしたいと思います。（及川）



只見町
雪まつり

ふるさと交流都市締結 30 周年
只見ふるさとの雪まつり

皆さんは、日本屈指の豪雪地帯である福島県南会津郡只見町が、
柏市の「ふるさと交流都市」になっているのをご存知でしょうか？
今年は「ふるさと交流都市」締結 30 周年に当たります。

2014 年にユネスコエコパークに登録された只見町は、四季折々の
自然がとても美しい町ですが、今年は、大雪でご苦労されている
ニュースを見ることが多い冬でした。

只見町では、町外で町の魅力を広く発信する「ふるさと大使・
応援団」という活動があり、長く関わりの深い柏市民の中には、
大使や応援団として活躍しているかたがたくさんいます。

2 月に行われる町の一大イベント「只見ふるさとの雪まつり」
では、ブースを持って町内外の方と交流し、只見町の魅力を語り
合い、自分たちの住む町の PR などを行いました。ブース内のス
トーブを囲んで「今年の雪の量はすごい！」「かしわまつりで踊っ
たことがありますよ」など会話が弾みました。



秘境路線・只見線が走り、食べ物がおいしく、人が温かい、魅力あふれる
自然首都・只見へ、一度はお出かけください。

只見町のことをもっと詳しく知りたい方はこちらをどうぞ



[第 5 期只見町ふるさと大使 三好玲子]

柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

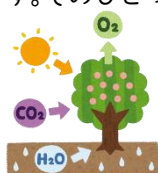
柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄付金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している 27 団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次 愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



（基金の詳細）

NPO 法人かしわ環境ステーション

柏市内を主な活動のフィールドとして環境保全に関する理解を深め、様々な主体（市民、専門家）が連携・協働して環境保全活動を促進することを目的に活動しています。また柏の自然や生きものが将来にわたって保全・再生されるよう、＜温暖化対策部会＞＜生物多様性部会＞と2つの部会を結成し、広く温暖化対策や生物多様性に関する普及啓発活動を行っています。そのひとつとして「柏の自然と生きものフェスタ」を開催し、市内各所で巡回



写真展を行っています。



（団体の詳細）

NPO 法人アロハート

ゆるやかな第三の居場所を提供し「学びて老いず」をモットーに専任講師のもと「晩年を輝かせるための学び合い」（市民講座シリーズ）を月 1 回開催。今年度は 6 月から「みんなで学ぶ杖ことば」（生きる力がわいてくる名言・名句とエピソード）を開講予定。併せて月刊会報「渡し愛」（ニュースレター）を発刊、高齢者の知識欲を喚起しています。一連の親交を通して他者援助と自己成長を促し、高齢者社会を支えるケア・リーダーの養成に努めています。



（団体の詳細）

柏駅前行政サービスセンターとパスポートセンターが移転

柏駅前行政サービスセンターとパスポートセンターが、2 月 26 日（水）に柏高島屋ステーションモール新館 12 階にオープンしました。

両センターが隣接となるため、利便性の向上や業務の連携強化を図り、柏駅前で良質な行政窓口サービスを継続的に提供します。

また、柏駅東口地区のパレット柏との相乗効果で、柏市民のコミュニティの育成や市民活動の活性化が図られることが期待されます。



★団体名クイズ(2 ページ)の答え★

団体名に「手賀沼」が付いた団体は9団体あります。

⇒沼南手賀沼ボランティア会、特定非営利活動法人手賀沼トラスト柏支部、手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会、手賀沼の自然を愛する「白樺吟詠の集い」青雲会、特定非営利活動法人手賀沼協会、NPO 法人手賀沼森友会、手賀沼水生生物研究会、手賀沼里山クラブ、手賀沼大学

お知らせ

サポートコーナーからのお知らせ

5月18日（日）に柏市民活動フェスタ 2025 が開催されます！

市民活動の祭典「柏市民活動フェスタ 2025」が、5月18日（日）に約80団体が参加して開催されます。

日時 2025年5月18日（日）10時～15時

会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリーかしわ前広場
柏駅前通り商店街ハウディモール、パレット柏
ご家族やお友達を誘って、皆さんでご来場ください！



※2024年のフェスタの様子

市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内

下記の日程で市民活動講座と協働まちづくりサロンの開催を予定しており、現在、企画立案を進めています。

【市民活動講座】・・・年5回（7月、9月、11月、1月、3月）

【協働まちづくりサロン】・・・年5回（6月、8月、10月、12月、2月）

詳細が決まりましたら、柏市民公益情報サイト「かしわん,ぽっ？」等でお知らせします。

まち match づくりステーションのご利用案内

パレット柏の「まち match づくりステーション」は、柏市内で活動する市民活動団体の活動紹介や団体同士の交流・連携などに利用するスペースです。団体活動の活性化に向けて、積極的にご利用ください。

ご利用を希望される方は、パレット柏の総合受付までお申込みください。 ☎04-7157-0280



～編集後記～

柏ゆかりの豊昇龍関の横綱昇進記念パレードが先日行われ、サッカーJ1リーグで好スタートを切った柏レイソルとともに、スポーツで柏は熱くなっています。

さて、パレット柏がオープンし、市民活動サポートコーナーが開設して10年目の節目の年を迎えます。

当コーナーでは、市民活動団体の皆さんとともに、スポーツ界に負けず、市民活動で柏を盛り上げたいと思っています。一緒にがんばりましょう！

[編集：及川愛二]

柏市民活動ニュースレター 第36号 2025年3月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

